



FreeSpace FS2SE

Surface-mount Loudspeaker

Installation Guide	Monteringsveiledning44
Guía de instalación	Instrukcja montażu
Notice d'installation 16	安装指南58
Installationsanleitung 23	安裝指南65
Guida all'installazione30	設置ガイド72
Installatiehandleiding	ىلىل التركيب

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、いつでも参照できるように保管してください。

本製品は、専門の施工業者による設置のみを想定した製品です。本書は、一般的な固定設置システムにおける本製品の、基本的な設置と安全上のガイドラインを施工業者様に提供します。設置する前に、本書とすべての安全に関する警告をお読みください。

ご自身で製品を修理しないでください。修理が必要な際には、正規サービスセンター、ボーズ認定の施工業者、技術者、ディーラーまたはディストリビューターにお問い合わせください。Bose Professionalに連絡する、またはお近くのディーラーまたはディストリビューターを検索するには、PRO,BOSE.COMにアクセスしてください。

- 1. このガイドをよくお読みください。
- 2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
- 3. すべての注意事項に留意してください。
- 4. すべての指示に従ってください。
- 5. 通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
- 6. ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近く には設置しないでください。
- 7. 必ず製造元より指定された付属品、あるいはアクセサリーのみをご使用ください。



警告/注意





この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれて いる医療機器への影響については、医師にご相談ください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には 適していません。

- 設置者の責任で、適用される法律および基準に準拠した、十分な耐風構造を持つ サポートシステムを使用してください。
- ボーズ製品を設置する際は、必ず地域と業界指導の安全基準に従ってください。
 各地域の建築に関する条例や規制など、適用される全ての法律に従って本製品およびその取付金具を設置することは施工業者の責任です。本製品を設置する前に、各地域の管轄官庁に相談してください。
- この製品は屋内の水を使用するエリア(屋内プール、屋内ウォーターパーク、浴室、 サウナ、スチームサウナ、屋内スケートリンクなど)での設置または使用を意図していません。
- 重量物の不安定な設置や頭上吊り下げは、重傷または死亡、および設備機器等への損傷の原因となる可能性があります。適用する設置方法の信頼性を評価することは、施工業者の責任です。適切な部品および安全な設置技術の知識を持つ専門の施工業者のみが、天井へのスピーカーの設置を行うことができます。
- 設置面の強度が不十分な場合や、設置面の裏側に電線や配管などの危険物が隠れている場合は、本製品を設置しないでください。各地域の建築に関する条例に従って、認定された専門業者によりブラケットが取り付けられていることを確認してください。
- FreeSpace FS2SEには、本体付属またはボーズ指定の取り付け部品およびアクセサリーのみをご使用ください。本スピーカーを取り付け面に固定するための器具は付属していません。使用可能なアクセサリーの詳細については、PRO.BOSE.COMに用意されている、本製品のテクニカルデータシートを参照してください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 許可なく製品を改造しないでください。
- FreeSpace FS2SEに付属している壁面取り付けブラケットは、モデルFS2SE専用です。
- スピーカーや取り付けコンポーネントを、潤滑剤、洗浄剤、接点復活剤、および炭化 水素を基剤とする溶剤などを含む、ボーズ指定外の化学物質にさらさないでくだ さい。製品がこうした物質に触れると、プラスチック素材の劣化につながり、ひび割 れが生じて落下事故を招くおそれがあります。
- スピーカーの汚れ落としには、必ず乾いた布をお使いください。スピーカーを石けん、洗剤、鉱油、アルコールなどの洗浄剤、化学物質に触れる可能性がある場所で使用しないでください。

仕様:

入力電圧: 70V/100V インピーダンス: 16 Ω,16W

電流またはパワー: (70V): 1W,2W,4W,8W,16W,(100V): 2W,4W,8W,16W

規制に関する情報

Do not paint or modify factory-applied finishes.



This product conforms to all applicable EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: **www.Bose.com/compliance**.



This symbol means the product must not be discarded as household waste, and should be delivered to an appropriate collection facility for recycling. Proper disposal and recycling helps protect natural resources, human health and the environment. For more information on disposal and recycling of this product, contact your local municipality, disposal service, or the shop where you bought this product.

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「7」は2007年または2017年です。

中国における輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plant 9, No. 353 North Riying Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

EUにおける輸入元: Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands メキシコにおける輸入元: Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F.輸入元およびサポート情報: +5255(5202) 3545

台湾における輸入元: Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No. 10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan.Phone Number: +886-2-2514 7676

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

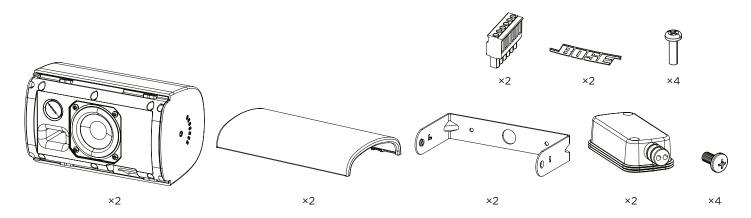
BoseおよびFreeSpaceは、Bose Corporationの商標です。

©2020 Bose Corporation.本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

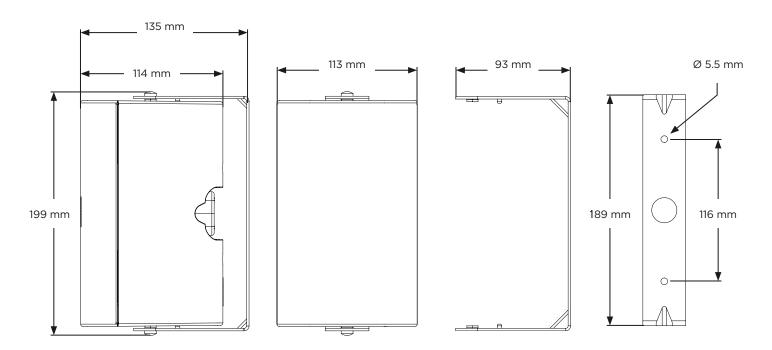
保証情報

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。 保証の詳細については、PRO.BOSE.COMをご覧ください。 PRO.BOSE.COM 概要

パッケージ内容



製品寸法



技術仕様

詳細な仕様は、**PRO.BOSE.COM**に用意されている、FREESPACE FS2SE のテクニカルデータシートを参照してください。

物理的仕様	
製品寸法	高さ: 199 mm
	幅: 113 mm
	奥行き: 135 mm
質量(グリルおよびブラケット装着時 のスピーカー、単体)	1.63 kg
梱包質量(ペア)	4.17 kg
使用環境	屋外の水気の多い場所での使用に 対応として屋外で使用できます。オ プションで赤さび防止用のアルミ製 グリルを使用できます。

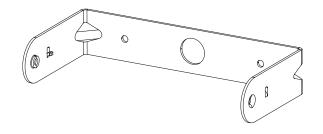
設置に関する重要な情報



スピーカーを設置する前に、70ページの**安全上の重要な注意事項** をご確認ください。 セットアップ PRO.BOSE.COM

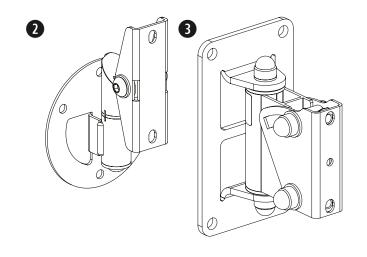
設置オプション

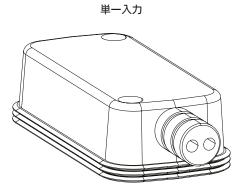


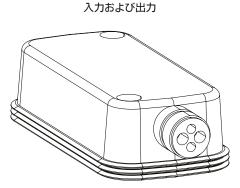


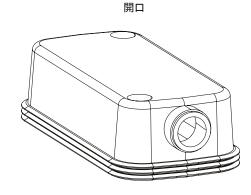
設置オプションとアクセサリー

- 取り付けブラケット(付属)
- OMSBRKT 壁掛けブラケット(オプション、屋内専用)
- **3** WBPWR-50 壁掛けブラケット(オプション、屋外用)









入力カバーの準備

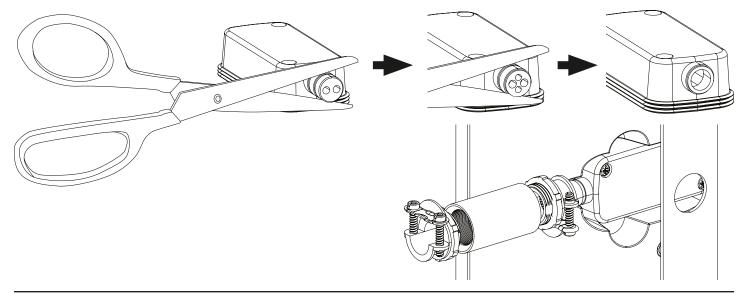
入力力バーは、上記3つの各配線パターンに対応するように設計されています。ゴム管の点線に沿って切り取ることで、お使いの配線パターンに合わせて入力カバーの構成を変更することができます。両側が1/2インチ径のネジ式カップリングと、1/2インチノックアウト用の導管器具(所要寸法3/8インチ)を2つ使用してください(下の図を参照)。



注意: フレキシブル導管と入力カバーを取り付ける場合は、開口の配線形式は使用しないでください。

注: ユーロブロックコネクターへの水の侵入を防ぐために、設置者の責任で密閉してください。

注: フレキシブル導管とカップリングはUL準拠である必要があります。また、用途に適したもので、各地域の管轄官庁の規制に従う必要があります。



スピーカーの配線

ケーブルゲージ

FreeSpace FS2SEで使用できるケーブルのゲージは、18 AWG(0.8 mm²)~14 AWG(2.1 mm²)のみです。

接続図

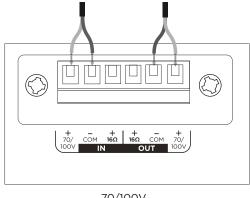
裸線を長さ6 mm(1/4インチ)露出して端子に接続します。

注: 本スピーカーは、固定導管の使用には対応しておらず、フレキシブル導管ま たはケーブル接続のみに適しています。

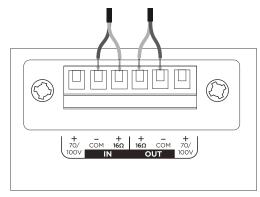
注: 配線は、以下に従って行う必要が あります。

カナダ: CSA C22.1,Canadian Electrical Code, N-1, Safety Standard for Electrical Installations,セクション32

米国: The National Electrical Code,NFPA 70およびNational Fire Alarm and Signaling Code,NFPA 72

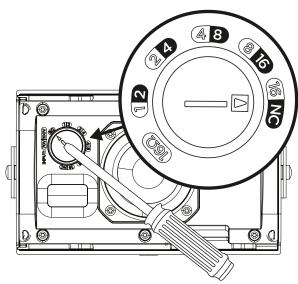






16 Ω

スピーカーの設定



		70V			
1W	2W	4W	8W	16W*	100
2W	4W	8W	16W	NC**	16Ω
		100V			

*工場出荷時設定

**NC: 未接続(使用しない)

トランスフォーマータップの設定

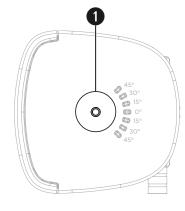
回転させてタップを設定します。マイナスドライバーを使用します。

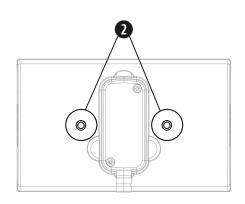
安全ケーブルの使用

お住まいの地域により、安全性の強化のため、スピーカーの 構造物に対する固定に二次的な方法も用いることが法令に より義務づけられている場合があります。適用される建築基 準や規制を満たす設置場所や設置方法、器具を選択してく ださい。

本スピーカーに安全ケーブルを取り付けるときは、筐体の背面または側面にあるネジ穴のいずれかを使用してださい。ス ピーカーの取り付けに付属の取り付けブラケットを使用する 場合は、背面のネジ穴(2)のいずれかを使用します。スピー カーにオプションのアクセサリブラケット(4ページを参照)を 取り付ける場合は、側面のネジ穴(1)のいずれかを使用しま す。安全器具の取り付けポイントについては、右の図を参照 してください。

側面のネジ穴(1)はM5ネジ用で、深さは11 mmです(M5ネジ を別途用意する必要があります)。背面のネジ穴(2)はM6ネ ジ用で、深さは12 mmです。

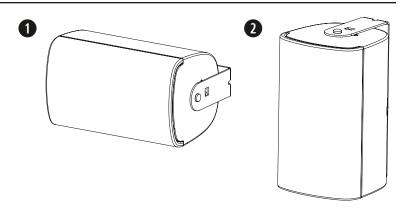




スピーカーの向き

設置環境に合わせて最適なスピーカーの向きを選択します。

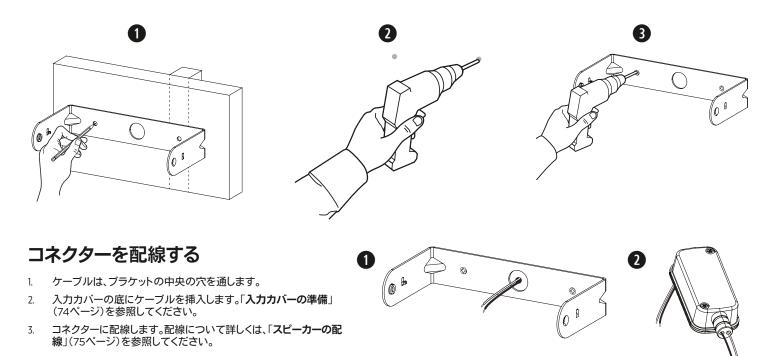
- 横向き
- 2 縦向き



ブラケットを取り付ける

注: 取り付け位置を決める際、取り付けブラケットの取り付けポイントの1箇所以上を、支持構造に固定する必要があります。取り付けポイントが支持構造にしっかり固定されない場合、取り付ける際に適切な補強器具を使用して固定してください。各地域の建築基準と要件すべてに適合する留め具を選択してください。 注: スピーカーの重量(1.63 kg)を支えるのに適した留め具を選択してください。

- 1. 穴を空ける位置に印を付けます。
- 2. 壁に穴(使用する留め具の大きさ)を2つ開けます。
- 3. ネジを2つ(付属していません)使い、ブラケットを壁に固定します。注: M5または#10-24サイズのネジを使います。

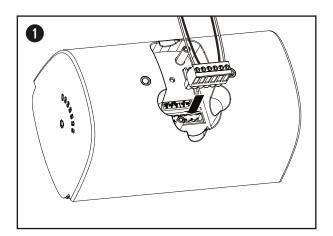


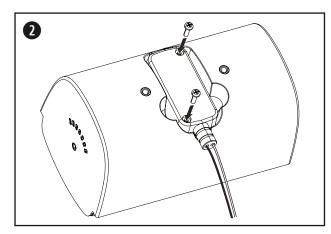
スピーカーを取り付ける

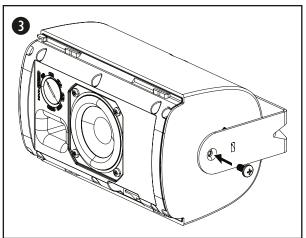


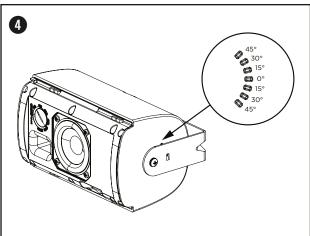
警告: 下記の手順に従わない場合、設置が不安定になり、落下事故の原因となる可能性があります。

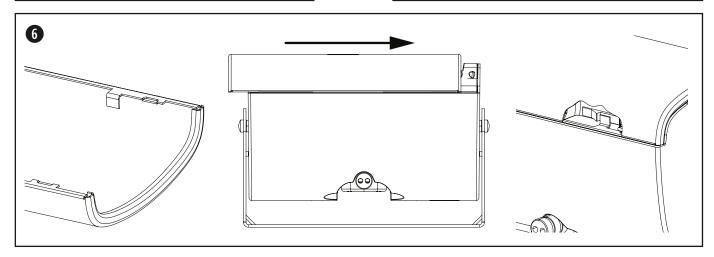
- 1. 配線済みのコネクターをスピーカーに取り付けます。
- 2. 入力カバーをコネクターの上から取り付け、スピーカーに強く押し付けてしっかりと密閉します。付属の入力カバーネジ(x2)を使用して入力カバーを固定します。「**入力カバーの準備**」(74ページ)を参照してください。
- 3. スピーカーをブラケットアーム間に差し込み、付属のブラケットネジをスピーカー各側面のネジ穴に挿入します。
- 4. 取り付けブラケットのピンを、取り付けに適した角度スロットに合わせ、ブラケットをスピーカーにはめ込みます。 注: スピーカーの角度は、0°、±15°、±30°、±45°に調節できます。 注: 屋外用途ではスピーカーを上向きに取り付けないでください。
- 5. スピーカー両側面のネジを締め、スピーカーを取り付けブラケットに固定します。ネジを締めすぎないようにしてください。
- 注: グリルの取り付けの前に、設置に合わせてスピーカーのタップ設定を適切な値に調整します。75ページのスピーカーの設定を参照してください。
- 6. グリルの内側に出ているグリルタブの位置を確認します。グリルをスライドさせてはめ込みます。グリルから出ているグリルタブがスピーカー筐体のグリルロックに固定されていることを確認してください。











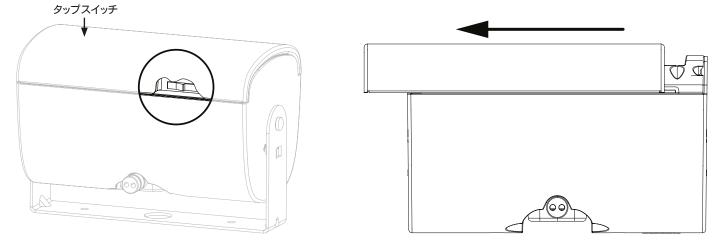
設置ガイド • FreeSpace FS2SE

設置 PRO.BOSE.COM

グリルの取り外し

グリルはグリルロックで固定されています。グリルの穴(直径最大1.5 mm)から小型の工具を差し込んで、固定されているグリルロックを外します。グリルロックが外れた状態でグリルをスライドさせてスピーカーから外します。

注: グリルロックはスピーカーのタップスイッチとは逆側にあります。グリルロックの位置については下の図を参考にしてください。



ロゴの向きを調整する

FreeSpace FS2SEには横向き用のBoseロゴがあらかじめ取り付けられています。スピーカーには、縦向き用のロゴも別に用意されています。ロゴを取り外すには、スピーカーグリルからはぎ取ります。縦置き用のロゴを取り付けるには、グリルの中心を確認し、ロゴ背面の突起をグリルの穴に合わせます。ロゴを押し込んでスピーカーグリルに固定します。

安全上のコンプライアンス

Bose FreeSpace FS2SEは幅広いテストに合格しており、次の仕様と用途に準拠しています。

ANSI/UL 1480-2016, CAN/ULC-S541認証

防火信号用途 - UL Category UUMW/UUMW7、File Number S 3241Control Number 42S9。 DC監視システムには使用しない

屋外の水気の多い場所での使用に対応

NFPA 70、米国電気規程(2002年、第640条)に準拠したクラス1、クラス2、クラス3の配線による設置に対応

NFPA 70、米国電気規程(2002年、第760条)に準拠した火災警報回路配線方法の使用に対応

NFPA 70、米国電気規程、2002年、第300-22(c)条

NFPA 90-A、2002年、Installation of Air Conditioning and Ventilation Systems、第4.3.10.2.6.5節

CEマークの表示、およびEMC指令89/336/EECおよび指令の第10(1)条、EN50081-1およびEN50082-1に準拠。

Bose FreeSpace FS2SEは、組み合わせシステム向けの以下の欧州規制仕様で規定されている要件に適合するように設計されています。

英国規格実務規則BS 5839、パート8(セラミックブロック端子および温度ヒューズを併用する場合)

IEC60268-5のテストを実施。

公称カバレージ角度(UL 1480に準拠) 垂直: -3 dBで120°/50°、-6 dBで155°/25° 水平: -3 dBで120°/60°、-6 dBで155°/25°

UL、3.1m(10フィート)での感度ワット数タップ音圧レベル(dBA):

ワット数	CAN/ULC-S541 加拿大		ワット数	ANSI/UL 1480-2016 米国	
タップ	70 V	100 V	タップ	70 V	100 V
1 W	77.9 dBA	_	1 W	72.4 dBA	_
2 W	80.8 dBA	80.8 dBA	2 W	74.7 dBA	74.9 dBA
4 W	83.3 dBA	83.3 dBA	4 W	77.5 dBA	77.5 dBA
8 W	86.0 dBA	85.9 dBA	8 W	80.2 dBA	80.0 dBA
16 W	87.7 dBA	87.7 dBA	16 W	82.6 dBA	82.5 dBA
16 Ω	87.5 dBA	_	16 Ω	82.6 dBA	_

表記されているSPLはUL 1480指定のレポート方法に準拠しています。

周波数特性:

火災報知器(UL): 95 Hz~17000 Hz

